

選考委員の声

夢キャラを募集しているのは知っていたし、自分たちも実は応募しようと、デザインを考えていました。だけど、考えている間に応募期限が切れちゃって…(苦笑)

だから、選考委員としての話が来たときには正直、「よっしゃー!! (ガッツポーズ)」だったんです。「自分が選んだんだ〜」って友達とかにも言えるし、「楽しそうだなー」って思いました。

自分たちが「いいなあー」って思っていた作品が最後まで残らなかったのが残念でしたが、高校生活最後の記念になりました。



多古高校生徒会副会長の内藤さん、書記の戸村さん。ふたりとも多古町生まれ多古町育ちの3年生

このほか、議会として参加した椎名議員からは「全部いいんじゃないの?」や、青少年相談員の飯田さんからは「じーっと見ると何だか気になる作品もあるよね」などの声でもでした。

選考会に2回とも参加させていただきました。最初は、「面倒くさいな」なんて思っていたのですが、だんだん楽しくなってきて「次もいかなきゃ!!」って気持ちになりました。

2回目の選考委員会はいろいろな方が参加していて少しドキドキしましたが、町をPRするキャラクター選びに参加できたことは光栄に思います。



子ども会育成者の代表として選考に参加した佐藤さんと白鳥さん

第二次選考会からは町民の方々の目線ですらに絞込まれました。5月12日、これからの多古町を担っていく「商工会青年部」「JA多古町園芸青年部」「火曜会」「青少年相談員」「子ども会育成者」の5団体から選ばれた7名により8作品を選びました。

最終選考会として5月27日には、町長を委員長とする「町議会」「商工会」「JA多古町」「青少年相談員」「子ども会育成者」の5団体から選ばれた7名により8作品を選びました。



二次選考会



最終選考会

選考
②30作品から3作品までに厳選されました

会育成者「多古高校」「多古中学校」の代表者からなる11名による選考委員会が開催されました。「いわゆる、ゆるキャラですからゆるーい感じで選んでください」との担当課長のひと言に、緊張気味だった雰囲気も和み、イラストレーターの方の助言もいただきながらいろいろな意見も飛び出す中、最終的には委員の方々による2回の無記名投票により一般投票による3作品が決定しました。

決定 いつ決まるの? ○○でしょー!!

選ばれた3作品は6月9日から6月30日の一般投票により愛称(名前)とともに決定します。現在は、投票集計中ですが、結果は広報たこ9月号でみなさんにお知らせする予定です。また、10月に開催予定の「町村合併60周年記念式典」においてお披露目されます。ご期待ください!!



つくろう! **多古町** 育てよう!
マスゴット
キャラクター
もうすぐ**決定!!**

多古町の夢と魅力を発信するための強力な助っ人!「夢キャラ」を現在作成中です。今月号ではその途中経過をみなさんにお知らせします。

4月1日から5月7日までの応募期間に、多古町内をはじめ遠くは北海道から沖縄までといった日本各地から予想していた数の4倍を超える合計2,175通もの作品が集まりました。これだけでもまずは多古町という名前を広くPRすることに成功したのでは? (選考が大変だなく、↑担当職員心の声)



積みあがった応募作品はまさに「山」のよう

募集
担当者もびっくり!?
2,000通を超える応募!



役場大会議室で行われた事務局選考の様子。まずは、作品の分類作業から

5月8日、広報たこのイラストを作成しているイラストレーターの方をアドバイザーとして役場の若手職員らによる事務局選考が行われ、30点に絞られました。選考基準としては

- 多古町の魅力を発信している
- 多くの人に愛され親しまれる
- シンプルでわかりやすい
- 着ぐるみにしやすい
- 4項目を満たすものとし、派手さや上手さよりも素人らしさ・ユニークさに着目しました。

選考
①2,175作品から
30作品に第1次選考